

自主返納の取組は？

運転免許証

問 高齢者に対し、運転免許証の自主返納をどのように促進しているのか。

答 本市では、平成18年1月から市の高齢者交通安全アドバイザーが、おおよね70歳から89歳までの高齢者宅を戸別訪問し、交通安全に関するアドバイスなどを行い、高齢者の交通事故防止に地道に取り組んでいる。これまでに累計約5万8千人を訪問しており、訪問の際には、改正道路交通法の啓発チラシを手渡し、認知機能のチェック体制が強化されることを説明することで自主返納について前向きに考えていただき、自主返納につながるよう努めている。

自主返納を促進するためには、高齢者の移動手段の確保が重要であると考えており、デマンド型乗合タクシーの市街地などへの拡充を検討したり、既存バス路線の見直しを行うなど、施策の展開を図っ

ていきたい。

不登校児童・生徒の支援

理解と受容の姿勢で！

問 不登校児童・生徒に対してどのような認識を持って対応しているのか。また、現在の教職員数でじゅうぶんな対応ができているのか。

答 不登校とは、多様な要因・背景により、結果として不登校状態になっているということであり、その行為を問題行動と判断してはならないとの認識を持って、各小・中学校が指導・支援している。また、教職員の負担軽減を図り、児童・生徒と向き合う時間をじゅうぶんに確保するため、平成27年度までに市内全小・中学校に公務支援システムを整備した。これによって、学校現場での公務の効率化が進み、ゆとりをもって児童・生徒の指導に当たることができている。今後も、不登校児童・生徒一人一人の多様な課題に対応するため、組織的で継続的な指導・支援を推進していきたい。

常任委員会審査レポート

総務

本委員会は、付託議案14件、請願4件の計18件について、12月22日に書面審査を行いました。

審査の過程では、①職員定数条例に定められた職員数を適正に配置し、組織の充実を図るべきではないか、②社会保障・税番号制度システム整備事業における経費の負担割合はどうか、③シティプロモーション検討事業の内容、④自治体シンクタンクにおける議会との連携に対する考え方、⑤地域自治組織の結成に向けたスケジュールや市の組織体制についてどのように考えているのかなど、予算案や条例案に係る質疑が行われました。

これらの審査概要は、本会議（1月10日）で委員長報告を行い、採決の結果、議案14件は可決、請願2件は不採択、2件は継続審査となりました。

福祉文教

本委員会は、付託議案3件、請願1件の計4件について、12月22日に書面審査を行いました。

審査の過程では、①市単独小中学生入院医療費助成事業費が増額になった理由は何か、②平成28年10月から医療費が完全無料化になったことで、コンビニ受診などにより医療費が増加したのではないか、③石鎚クライミングパークSAIJIO内のリード競技場に新たに常設屋根を設置することになった経緯はどうか、④西条市総合福祉センター駐車場内に新設する水汲み施設の活用方法など、予算案に係る質疑が行われました。

これらの審査概要は、本会議（1月10日）で委員長報告を行い、採決の結果、議案3件は可決、請願1件は不採択となりました。

産業建設

本委員会は、付託議案6件について、12月22日に現地調査の後、書面審査を行いました。

審査の過程では、①西条市通学路安全推進連絡協議会から要望のあった通学路の危険箇所対応状況、②西条市椿交流館の指定管理委託料については、改修を完了させてから上限額を積算すべきではなかったのかなど、予算案や条例案に係る質疑が行われました。

これらの審査概要は、本会議（1月10日）で委員長報告を行い、採決の結果、議案6件は可決となりました。



現地調査